

エネルギー・環境政策の再設計のため、国家戦略会議の下にエネルギー・環境会議を設置し、革新的エネルギー・環境戦略策定に向けた検討を実施。

◆「革新的エネルギー・環境戦略策定に向けた中間的な整理」(平成23年7月決定)

・原発への依存度低減のシナリオと分散型エネルギーシステムへの転換という大きな方向性を決定

◆「基本方針～エネルギー・環境戦略に関する選択肢の提示に向けて」(平成23年12月決定)

・原子力政策、エネルギーミックス、温暖化対策に関する選択肢提示に向けた基本方針を決定

[エネルギー・環境会議の構成員]

議長：国家戦略担当大臣

副議長：経済産業大臣、環境大臣(兼原発事故の収束及び再発防止担当大臣)

構成員：外務大臣

文部科学大臣

農林水産大臣

国土交通大臣

内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

議長の指名する内閣官房副長官

事務局長：内閣府副大臣(国家戦略担当)

革新的エネルギー・環境戦略策定スケジュール

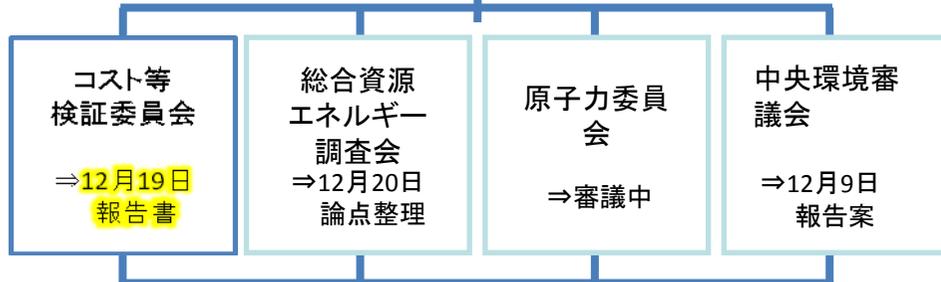
【これまでの経緯(平成23年6月～)】

6月 7日(火) 新成長戦略実現会議の分科会として
エネルギー・環境会議を設置

7月29日(金) エネルギー・環境会議

- 「革新的エネルギー・環境戦略策定に向けた中間的な整理」を決定
- ・原発への依存度低減のシナリオと分散型エネルギーシステムへの転換という大きな方向性を決定

10月 3日(月) エネルギー・環境会議(第3回)
○ コスト等検証委員会を発足



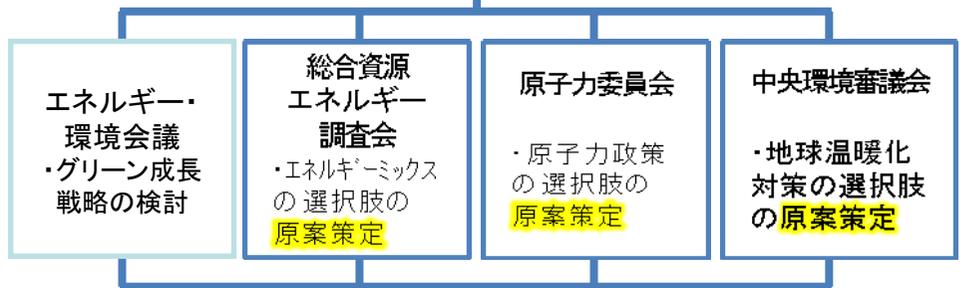
【今後の進め方】

平成23年12月21日(水) エネルギー環境会議(第5回)

- 来春の選択肢提示に向けた基本方針を決定

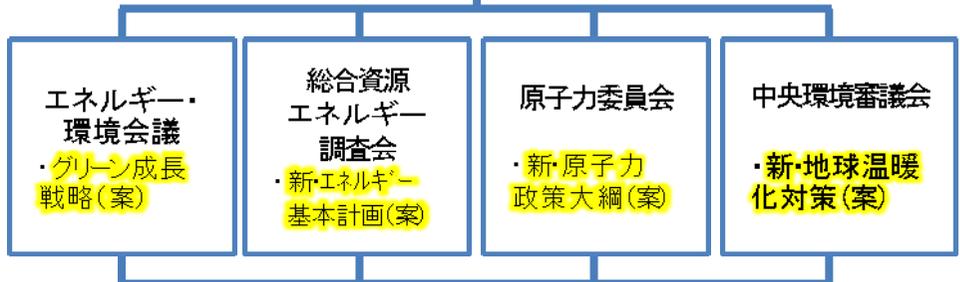
平成23年12月22日(木) 国家戦略会議(第5回)

「日本再生の基本戦略」に反映



平成24年春 エネルギー環境会議

- エネルギー・環境戦略に関する戦略の選択肢の提示
⇒ 国民的議論を進める



平成24年夏 エネルギー環境会議

- 「革新的エネルギー・環境戦略」の決定

(平成23年12月21日第5回エネルギー・環境会議資料に基づき作成)

革新的エネルギー・環境戦略の基本方針概要

(1) 選択肢の提示に向けた基本的な姿勢

- ①「白紙からの見直し」の原点に立ち帰り、原子力のリスク管理に万全を期する
- ②原発への依存度低減に向け、国際的な情勢も視野に入れ、エネルギー安全保障や地球温暖化対策との両立をも図るという姿勢で臨む
- ③「創エネ」、「蓄エネ」、「省エネ」を軸に、需要家や地域が自発的にエネルギー選択に参加できる新たなエネルギーシステムを築くことにより、新たなエネルギーミックスと地球温暖化対策を実現する

(2) 原子力政策、エネルギーミックス、温暖化対策に関する選択肢提示に向けた基本方針

① 原子力政策に関する選択肢の提示に向けた基本方針

原子力発電については、世界最高水準の安全基準とその客観的かつ厳格な運用を確立するなど、安全対策を抜本的に立て直す。また、賠償等のスキームを、国際的な動向と調和を図りつつ、整備する。

中長期的な原子力政策の在り方については、核燃料サイクル政策も含む原子力政策の徹底検証を行う中で、安全、環境、セキュリティ、経済などの論点を整理した上で、選択肢を提示する。

② エネルギーミックスに関する選択肢の提示に向けた基本方針

安全・安心の確保を大前提としつつ、国民生活や産業活動の安定、エネルギー安全保障の確保、温暖化への貢献などの視点も踏まえ、複数のシナリオを提示する。

③ 地球温暖化対策の選択肢提示に向けた基本方針

環境の要請も踏まえたエネルギーミックスの選択肢と表裏一体となる形で、地球温暖化対策に関する複数の選択肢を提示する。

(3) 日本再生の核となるグリーン成長戦略の策定

エネルギー・環境戦略の一環として、低炭素型の社会・産業構造への転換がどう進み、雇用・成長・新技術を生み出す新たなエネルギー・環境産業の拡大がどう見込めるかといった点を明らかにするグリーン成長戦略を策定する。